

こんなまち
になってほしい!

長期休みのみに利用できる
学童を充実させてほしい。

子育て支援センターの
数を、もっと増やして
ほしい。

子どもたちと地域の方々が
触れ合える機会や場所が
減ったように思う。

子どもが安心して通学できる
ように見守り隊などの対策を
してほしい。

図1 ※回答は1つのみ 子育てに不安や負担を感じるか? (単位: %)

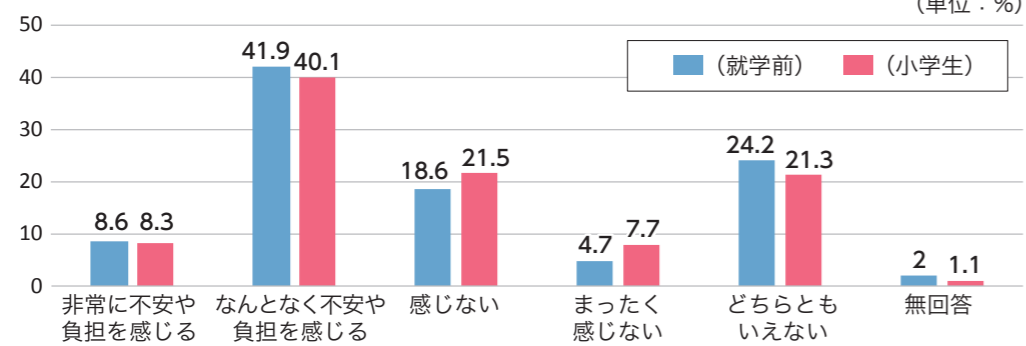
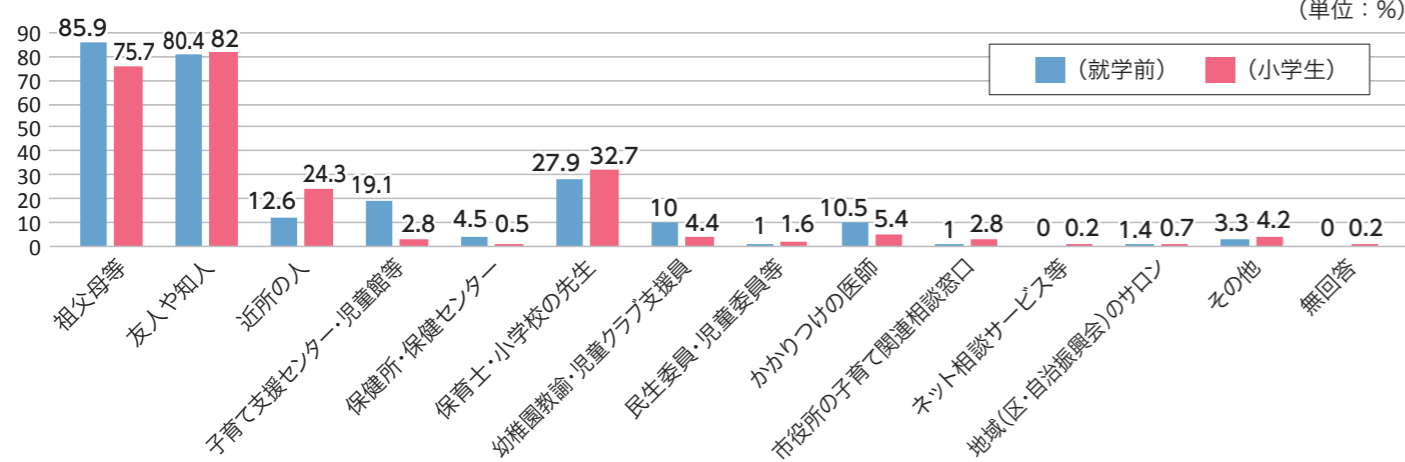


図2 ※複数回答可 相談する相手は誰ですか? (単位: %)



オール甲賀で子育てを!

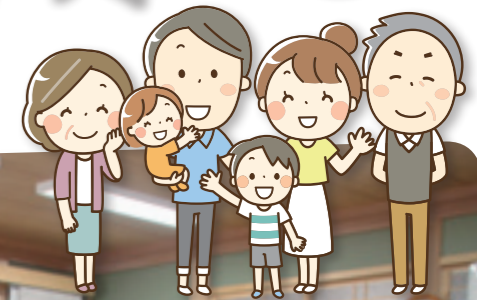


図1は、子育てに不安や負担を感じるか、図2は子育てに関して気軽に相談できる相手がいると回答した家庭に対し、相談する相手は誰ですか、という質問です。

結果からは、いずれの家庭においてもほぼ半数が何かしらの不安や負担を感じておられること、また気軽に相談できる相手には、『祖父母等の親族』『友人や知人』が双方ともトップ、第2位となっています。

自由記述では、医療費や学校にかかる費用面での支援、相談や情報発信の拠点である支援センターの充実、全国的に子どもが巻き込まれる交通事故や事件が増加している現状から通学時の見守り活動の強化などの声がありました。

この結果を基に市ではさらなる支援策の充実に努めていきます。

万、市内地域では地域みんなで子育てをしていくという取り組みも進んでいます。

甲賀市の未来を担う子どもたち、子ども、大人、地域が一体となって子育てに関わり、子育てナンバーワンのまちにオール甲賀で取り組み、未来につないでいきます。

「子育て」については、結婚すれば親世代との同居が大半であったひと昔前までは、親が仕事をしている間、自宅では祖父母が子の世話をし、また、近所の大人も、いけないことをすれば他人の子どもであっても叱る、まさに家族だけでなく地域での子育てが普通に行われていました。

しかし、近年、核家族化や、地域交流の場が少なくなり、人間関係の希薄化が叫ばれる中で、周囲に相談できず、一人で悩みを抱え、産後、育児うつになってしまつことも社会問題となっています。

子育てには、妊娠、出産、育児と経ていく中で、夜泣きや急な体調変化、イヤイヤ期、保育園の送迎や放課後の過ごし方など、子どもが成長していくに従って、さまざまな不安や悩みが出てくることでしょう。

未来を担う子どもたちをみんなの手で!

上の図は昨年度に就学前及び小学生児童がおられる家庭2,000世帯に協力いただき実施した子育てに関する二一ス調査の結果です。